

今月のトピックス

- ・カナダ海外研修報告
- ・恒例行事 マラソン大会実施
- ・南予水産・地域研究交流会参加
- ・G-GAP認証公開審査会実施

カナダ海外研修報告

12月18日(水)～25日(水)の8日間、7名の生徒がカナダのバンクーバーを中心に海外研修を行いました。4日間のホームステイを通して、語学力を高めたと同時にカナダの生活文化や食文化を学びました。また、バンクーバーの農林水産業、観光業について研修を行いました。今回の海外研修を終えて、地元愛南町の良さを改めて感じるとともに、地元の資源を生かした活性化について考えるよい機会となりました。



冬の恒例行事！ 南高マラソン大会実施

2月4日、毎年恒例となっている校内マラソン大会を実施しました。男子は9.7km、女子は6.3kmを走りぬぎました。この日は暦の上では立春(りっしゅん)を迎えましたが、春とは名ばかりで時折、小雪が舞う中での実施となりました。しかし、生徒たちは寒さに負けず、ベストを尽くし全員が最後まで完走しました。地域の方や保護者の方々からも温かい声援をいただき生徒たちも背中を押されながらの走りとなりました。生徒の頑張りを応援していただきありがとうございました。



第3回 南予水産・地域研究交流会での研究活動報告

2月11日、御荘文化センターで南予水産・地域研究交流会が行われました。この交流会は南予地域の水産業の活性化や地域資源を生かした研究活動について発表を通じて交流を行うもので、今年度から中学生も参加しての開催となりました。本校からは地域振興研究部の地域資源を生かした取組の報告、総合的な探究の時間で水産部門が取り組んでいる赤潮の軽減対策についてポスター発表を行い交流を深めました。



今年も河内晩柑でG-GAP (Global - Good Agricultural Practice) 取得へ向けた公開審査会実施！

2月12日、本校で栽培している河内晩柑園地でG-GAPの取得に向けての公開審査会が行われました。G-GAPの取得には、単に柑橘を栽培するだけではなく、従事者の安全・衛生管理や農薬使用時の基準の順守、生態系などへの環境配慮、管理作業で使用する器具や施設のメンテナンスなど多岐にわたるチェック項目をクリアしなければなりません。今年度から新たな基準による審査が行われ、より細かな管理記録や作業内容の確認が必要となりました。愛南農業指導班や北宇和高校の生徒も審査会を見学していただき、地域への普及や農業高校同士のネットワークづくりにも努めています。



本校生徒への修学支援！（地域からの支援）

1 遠距離通学費補助金制度

- バス定期券購入補助 月額 12,000円
- 自転車等購入費補助 25,000円

2 各種検定受験料補助 受験料の5割

(2級相当以上の資格に限る)

3 南宇和高校教育世代生徒就学応援金制度

詳しくは本校ホームページをご覧ください。 <https://minamiuwa-h.esnet.ed.jp>

